



保育園・幼稚園 入園受付開始

提出期限 12月20日(水)

保育園 幼稚園

入園受付開始 提出期限 12月20日(水)

〈幼稚園〉

◎申込資格

・ 4歳児は、平成3年4月2日から平成4年4月1日までに出生した幼児。
・ 5歳児は、平成2年4月2日から平成3年4月1日までに出生した幼児。

◎募集人数

・ 4歳児、5歳児各70名

◎申込期限

・ 平成7年12月20日(水)
※期限後の申込みの受付は

〈保育園〉

◎申込み場所

・ 教育委員会または小須戸幼稚園

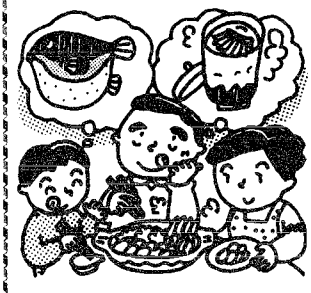
◎問い合わせ先

・ 教育委員会
38-3111 (内線67番)

小須戸幼稚園では、2年保育の趣旨を生かすために、従来のような1年間だけの5歳児の募集はこのたび限りとし、今後は、全員4歳児から5歳児までの2ヶ年間にわたって幼稚園教育を

◇ 平成9年度の募集からは4歳児だけを募集することにし、5歳児の募集は行ないません。
◇ このたび募集する平成8年度の園児募集に限り、4歳児と5歳児を募集します。

したがって、平成9年度に5歳児学級に1年間だけの入園を希望する予定の方は、このたび募集する平成8年度の園児募集の際に、4歳児学級から入園申込みをしてください。



「省エネルギー総点検の日」です。家族で話し合い、一人一人が省エネに気を配るようになりたいものです。

〈保育園〉

◎定員

小須戸保育園 一六〇名(内未満児十六名)
矢代田保育園 一〇〇名(内未満児十名)

◎入園資格

・ 当町在住者で、保護者が、勤務その他の理由により、家庭で保育ができない児童。
○ 二才児 平成5年4月2日

から平成6年4月1日まで
に出生した児童。

○ 三才児 平成4年4月2日
から平成5年4月1日まで
に出生した児童。

○ 四才児 平成3年4月2日
から平成4年4月1日まで
に出生した児童。

○ 五才児 平成2年4月2日
から平成3年4月1日まで
に出生した児童。

◎入園申請

・ 申請書、証明書等の諸用紙は、各保育園と役場に用意してあります。

◎申請期間

平成7年12月1日から同月20日まで

◎申請場所

各保育園と保健福祉課福祉係

◎入園決定

平成8年2月中旬に個人に通

◎問い合わせ先

福祉係 38-3111(内線33番)

◎申し込み場所

教育委員会または小須戸幼稚園

◎問い合わせ先

教育委員会 38-3111 (内線67番)

平成7年国勢調査結果

小須戸町人口、世帯の推移(国勢調査結果から)

年	男	女	世帯
大正9年	3,890人	4,372人	1,521世帯
昭和5年	4,256人	4,614人	1,546世帯
昭和10年	4,513人	4,842人	1,583世帯
昭和15年	4,715人	5,006人	1,592世帯
昭和22年	5,212人	6,280人	1,591世帯
昭和25年	5,604人	5,939人	1,942世帯
昭和30年	5,445人	5,879人	1,998世帯
昭和35年	5,347人	5,786人	2,071世帯
昭和40年	5,113人	5,644人	2,169世帯
昭和45年	5,067人	5,554人	2,252世帯
昭和50年	4,932人	5,441人	2,366世帯
昭和55年	4,976人	5,409人	2,422世帯
昭和60年	4,935人	5,437人	2,469世帯
平成2年	4,796人	5,377人	2,502世帯
平成7年	4,941人	5,439人	2,717世帯

10月1日で全国一斉に実施された国勢調査、県の集計の概数によると、小須戸町は、207人の増となっています。また、世帯数は前回とくらべて215世帯増加しました。

大正九年に第一回の国勢調査が行われてから、小須戸町では引き揚げ者等の関係で昭和二十五年の国勢調査で人口のピークになりました。その後、大都市集中傾向の中で人口は減り続け、その傾向は昭和四十五年まで続いてきました。昭和五十年から情報化社会の進展と物資の流通、文化の均

等化等により、大都市集中化が鈍化し、地方の人口は、やや安定しており、当町においても昭和五十年から昭和六十年の三回の間はほとんど横這いで停滞しています。今回の状況では、矢代田駅裏等の宅地造成などにより増加したものとされます。また、世帯数についても順調に増加し、先回にくらべると約

二百世帯の増加となっており、「住みよい小須戸町」が立証されているようです。この調査結果は、今後五年間の町行政における基礎数値となり、さまざまな施策に活用されます。今回の国勢調査について調査員はじめ、皆様よりご協力をいただきありがとうございます。



フグ

フグのおいしい季節になりました。フグ釣り、フグ雑炊、フグのひれ酒などを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。フグ料理のなかでも特にフグの刺し身は有名です。菊の花やクジャの形に盛りつけたものは、まさに食の芸術品、美食家のあこがれの的

昔は「フグは食いたし、命は惜しし」と言いました。中国の詩人・蘇東坡がフグを好み、「一死に価す」と言ったことも知られています。でも最近では、フグ中毒の話はあまり聞きません。これは、フグ料理師の制度が行き渡ったことが一つ、それとフグ料理の主役であるトラフグの七割が養殖物だからです。養殖物は配合飼料の関係で、毒がなからずです。

フグが高級魚であることは、いまでも変わりはありません。

が、最近ではスーパーなどでパックしたものを買って、家でフグ釣りを楽しむことができます。また、フグ刺しにたれや薬味を添えたセットや、フグ釣りセットの宅配サービスもあります。

フグのことを、「ふく」と呼ぶ地方もあります。日本一のフグ市場である山口県下関市でも「ふく」と言います。これは「福」に通じるからともいわれていますし、フグは海底で腹に水を吸い込んで吹き、砂を飛ばしてえさを取るからだとはいわれます。

ところで、十二月一日は、「省エネルギー総点検の日」です。家族で話し合い、一人一人が省エネに気を配るようになりたいものです。